

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月20日			
平成16年度	事業コード	11310	電話	042-769-8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課	課	
事務事業名	自動車燃料費助成			
予算上の事務事業名	自動車燃料費助成			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 1 章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第 3 節	障害者の自立支援と社会参加	63以前年度
施策名	第 1 施策	自立した生活を実現するための環境づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

市身体障害者自動車燃料費助成要綱

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	その他の経費	市単独事業	なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
重度の肢体又は体幹機能障害者が自己所有で自ら運転する場合の自動車燃料費の一部を助成し、生活の利便を図る。		自己の所有する自動車を自ら運転する者。	
		対象数	単位
		152	人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通物品基準単価 (110円/ℓと月当り50ℓを上限に積算した額) × 1/2 ・ 平成15年度決算(見込)額 助成額 4,305千円 実人数 152人 			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	相模原市障害者福祉計画	障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画(前期H10~14、中期H15~18、後期H19~22) 道路・交通手段等の整備	
計画年次	10年度~	22年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	自動車燃料費助成達成率	実施助成額 / 予定助成額(見込) × 100	自動車燃料費助成(予定)に対する実施助成額の達成率	13	14	15	16	17
				100	100	100	100	100
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
		3,832	3,960	4,305	29,240	29,240
	人員・時間数	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)
	人件費	801	801	801	801	801
	その他経費					
	合計	4,633	4,761	5,106	30,041	30,041
	特定財源					
	対象数(人)	138	147	152	1,900	2,961
	単位あたり経費(円)	33,572.5	32,387.8	33,592.1	15,811.1	10,145.6

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	社会参加の促進と行動範囲の拡大の面において、本事業の達成度は高い。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 障害者の生活を支援し、生活圏の拡大には必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	障害者の自立支援と行動範囲の拡大のためには有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 同一対象者に対し、福祉タクシー利用助成と自動車燃料費助成の選択制を設けるなど、障害者の利便性、効率性を図る必要がある。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	現行対象者は肢体又は体幹機能障害が自己所有自己運転する場合に限られており、家族が運転する自家用車への助成がないため、対象者の設定を見直す必要がある。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
障害者の社会参加の促進を図るため、福祉タクシー利用助成と自動車燃料費助成の対象者を同一とし、選択制を設けるとともに助成券交付方式の導入について検討する。		現行の助成対象者は肢体又は体幹機能障害本人が自動車を所有、本人運転する場合に限られているため、本人運転の場合の対象者の拡大及び家族が運転の自動車燃料費の助成の実施について要望が多く出されている。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		横須賀市 2000円券12枚 厚木市 自己20リットル券12枚(約24,000円)、家族10リットル券12枚(約12,000円)
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	タクシー利用者と自家用自動車利用者等との不均衡などの見直しを図るため、平成16年度から自動車燃料費助成対象者を拡大し、自動車燃料費助成と福祉タクシー助成のいずれかを選択できるようにした。また、新たに家族運転の場合についても自動車燃料費助成対象とした。本事業は、障害者等の行動範囲を拡大し、社会参加を促進する上で有効な事業であるため、今後も継続して事業を進めていく。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--